

調査を実施して

生徒たちの間で流行している交換日記の分析を試みたレポートは、日本でほとんど初めてのものではなかろうか。

このユニークなテーマは、一昨年刊行された「モノグラフ・中学生の世界・vol. 2 中学生の余暇」の中から生み出された。たまたま東京学芸大学の児童学のゼミの中で、発刊されたばかりの「モノグラフvol.2」を取り上げる機会があった。その中で、われわれは、中学生女子の75%が交換日記の経験者であるという数字に、大きな関心を抱いたのである。今日ほとんどの女子生徒が1度は経験するらしい交換日記が、中学生のサブ・カルチャーとして、どのような意味をもっているのか、また、彼らの人格形成に、どんな役割を果たしているのか、が討議された。しかし、席上の誰もが、自分の経験した交換日記以外に、他のグループのそれを見聞したことがなかったので、資料不足から、討議は一向に進まなかった。もともと閉鎖性、秘密性の強い交換日記グループの存在は、日陰に咲く花として、他人の目にふれることなく、その短い生涯を終わってしまうものらしい。

さて、もう一方の大学院のゼミでは、現代日本の子どもたちから、ギャング・エイジと呼ばれる時代がほとんど失われてしまったことについて論議がされていた。その時ふと、女子中学生の交換日記のグループは、新しい形の現代的ギャング集団ではないか、という発想がひらめいたのである。

深谷とゼミの受講生の一人であった鶴巻とが協力して、交換日記の収集をはじめたのは、その後しばらくしてからである。しかし、日記の入手は予想外にむずかしかった。交換日記が他人の目にふれるのは、何年を経ても愉快なものではないらしい。身近な人々に依頼しても、多くの場合「どこにしまっているかわからない」「他の人が持っていて手もとにない」などの理由で、断られることが多かった。それでも苦心に苦心を重ねて、18ケース、47冊の日記を収集することができた。このうち、半分近くは、鶴巻の個人的な交友関係の中で集められ、残りは、深谷がいくつかの大学での講義で学生たちに主旨を説明し、密封して印をつけた交換日記を借りることで集めたものである。それらは、第三者に手渡され、コピーされた後、再度密封されて、戻される。それを、次の授業に返却するというような手続きによって、秘密性の保持についての努力が払われた。

集められた日記の内容分析は、方法論が未確立なこともあって大変な努力を要する作業であったが、これはすべて鶴巻が行った。さらに鶴巻が同時に卒業論文で試みた、小さいアンケート調査の結果をもふまえて、交換日記に関するアンケート調査票が作成され、福武書店の協力ではほぼ1100人の中学生を対象に行うことができた。

本レポートは、全体が2部より構成されている。めったに入手できない交換日記の内容を、できるだけそのままお目にかけたいとの意図から、パートIIでは、それを一部抜粋して掲載した。各々の日記は、それなりにストーリー性があるが捨てがたい思いもしたが、紙面の都合でごく一部だけを抜き出さざるをえなかった。そしてパートIでは、行われたアンケート調査の結果をまとめ、一部に、集められた交換日記の内容分析の結果をも含め、交換日記の全体像を浮かび上がらせることを意図した次第である。

いつものことながら、われわれに、こうした調査研究と発表の機会とを提供してくださる株式会社福武書店社長・福武哲彦氏に、心からお礼を申し上げるとともに、調査実施にあたって直接いろいろのご配慮をいただいた福武書店教育研究所長(進研ゼミ指導部長)加藤智禧氏、調査室の矢沢勢津子さん、佐藤雅子さんにも厚くお礼を申し上げたい。最後に、貴重な時間をさいて本調査にご協力いただいた、中学校の先生方や生徒諸君、そして無名の交換日記の提供者たちにも、厚くお礼を申し上げたい。

昭和55年7月

東京学芸大学助教授 深谷和子
東京都世田谷区立玉川小学校講師 鶴巻景子

本報告書の要約

収集された47冊の日記の分析と1093名を対象に行われたアンケート調査の結果から、中学生のサブカルチャーとしての交換日記は、次のようなスタイルと意味をもつものと思われる。

1) 本調査のサンプルとなった女子中学生の88.5%、男子中学生の17.0%が交換日記の経験者であった。女子の場合、中1から中3までのどの学年も、調査の時点でほぼ50%が「現在もしている」と答えている。この数字は、調査対象が異なってもほぼ似た傾向を示すと考えてよいであろう。(表2、3)

2) 好きな異性のいる者は、男子で50% (両思い11%、片思い39%)、女子で73% (両思い11%、片思い62%) にも達し、交換日記のほとんどにこのテーマが出てくる。(図1)

3) 交換日記の内容は

- ① 日常の出来事についてのおしゃべり
- ② 好きな異性のこと
- ③ 自分の悩み

が圧倒的で、社会的視野の広がりや思索的な深まりを見せるものは少ない。(表12、13、14、15、16)

4) 学年を追うに従ってスターのゴシップなど日常的な話題から秘密性の強い個人的な話題へと移る。

5) 交換日記は、親友以外の人には見せないし、その存在すらも秘密にされることが多い。(表8、9、10、11)

6) 女子は、同じクラスで学校でも親しくつき合っている友人を対象にし、男子は、直接つき合いにくい対象 (特に異性) を選びたがる傾向がある。人数は2人組が圧倒的に多い。(表4、19)

7) 日記の書き方にはいくつかのルールがあることが多い。

- ① できるだけ1日で他の人へ回す。
- ② 1冊終了したら、次の番の者が日記帳 (多くはマンガや絵入りのノート) を買う。終了すると提供者の所有となる。(3人グループなら3冊終わると1人1冊ずつ所有できる)

8) 日記は絵入りのものもあり、多くはコロコロしたイラスト風の文字で書かれる。カラーペンの使用も多い。

9) 交換日記は、小5、小6、中1の3年間に始められるケースが多い。1か月程度の短命なものから何年にもわたるものもある。しかし、生徒たちは、交換日記を多く状況的なものとして捉え、それほど長期に続くとは思っていないようである。

10) 総じて交換日記は

- ① 最近、ギャング集団 (小学校3、4年から始まる閉鎖性の強い遊び仲間集団) が形成されにくくなった (放課後の遊び時間が失われた) ため、その身代わりのつながりを求めて
- ② 異性間のつき合いの方法として抵抗感が少ないので
- ③ 個人的親密さの要求に応ずるものとして
- ④ 一種の遊びとして

生徒の生活にいくつかの機能を果たすものようである。(表13、14、25)

11) 古い時代のものに比べて最近の交換日記は異性のこと以外のテーマで真剣に悩む自分を出しなくなっている。

ほとんど他人の目にふれる可能性もなく、親しい仲間との秘密の語らいの場であるはずの交換日記の中でさえ、最近の生徒たちが自分を語るトーンはテレとはぐらかしに彩られたものようである。ここに表出された青春がライト・タッチすぎて、あまりにも深みや奥行きに欠けるとするのはわれわれおとなたちの偏った感じ方なのだろうか。

交換日記のスタイル



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません

1. 調査目的とサンプル

調査の目的

小学校や中学・高校の女生徒たちの間で、こんなにも盛んに交換日記が行われるようになったのは、いつ頃からなのだろうか。

東京の場合、現在25歳くらいの若者たちに聞いてみると、もう当然のように、交換日記をしていたという。30代に入ったか入らないかの友人たちは、覚えがないと言う。とすると、この5年くらいの間に、どこかで発生し、その後急速に広がったのだと推定される。しかし、その後10年たっても、その流行は、一向に衰退のきざしを見せていない。とすると、交換日記は、もはや流行とよんで軽視できるようなものではなく、もしかしたら、思春期における一つの通過儀式のようになっているのかもしれない。

また、こうも考えられる。現代の子どもたちの中から、ギャング・エイジがなくなってしまったことは、どうやら本当のようである。

近い将来、おとなの翼の下から飛び立って行こうとしている彼らが、そのはばたきの練習であるかのように、友人たちと、秘密のグループを結成し始める。おとなの管理の下からぬけ出して、自分たちが支配する自分たちだけの世界を作ろうとする巣立ちへの営み。それがギャング集団であり、ギャング・エイジであった。しかし、おとなたちからの管理の目がいきとどき、子どもたち自身も、子ども時代のいごちのよさに、成長への欲求を忘れてしまったかのような現代においては、彼らの間に、ギャングの生まれる余地はなくなってしまったかのようなようである。しかし、女の子の間に発生した交換

日記は、もしかしたら、形を変えたギャング集団の存在を暗示するものであるかもしれない。

このような問題意識に立って、われわれは、この秘密性の強いグループの存在を、できるかぎり追いかけてみることにした。ひとつはアンケート調査によるものであり、その結果はパートIに掲げている。もうひとつは、交換日記そのものを収集して、内容の分析を試みたもので、結果は、パートIとパートIIに、それぞれ分散して掲げておいた。とくにパートIIでは、多くの交換日記の中から、一部をぬきだして、紙上に再現してある。生きた中学生たちの姿にできるだけふれること、また、ふつうなら日の目を見ない中学生のサブ・カルチャーの一端を明らかにすることが、パートI、パートIIを通じての、われわれのねらいである。

サンプルとその属性

次にアンケート調査のサンプルについて述べよう。

調査対象は、東京と宮城の公立中学2校で、1年生から3年生までの1093名(男子574名、女子519名)であり(表1)、調査時期は、昭和55年6月であった。

なお、このうち、交換日記の経験者は、男子17.0%、女子88.5%であった。交換日記は、多少地域的に流行があるが、ちなみに、「調査を実施して」で述べたように、「モノグラフ・中学生の世界 vol. 2」で行われた調査では、(東京と名古屋の公立中学生1114名、昭和53年7月)女子約75%、男子約7%であり、また、鶴巻が昭和54年6月に東京の3つの中学校の女子491名に行った調査では、女子の93.7%が経験者であるという数字もみられる。すなわち、多くの女子生徒がこれを経験するが、最近では次第にこれが男子生徒の間にも広がり始めていると考えてよさそうである。

〈表1〉サンプル数

(人)

	男子	女子	TOTAL
1年	139	122	261
2年	244	167	411
3年	191	230	421
TOTAL	574	519	1093

〈表2〉交換日記の経験

(%)

	男子	女子
ある	17.0	88.5

〈表3〉交換日記を現在もしている者

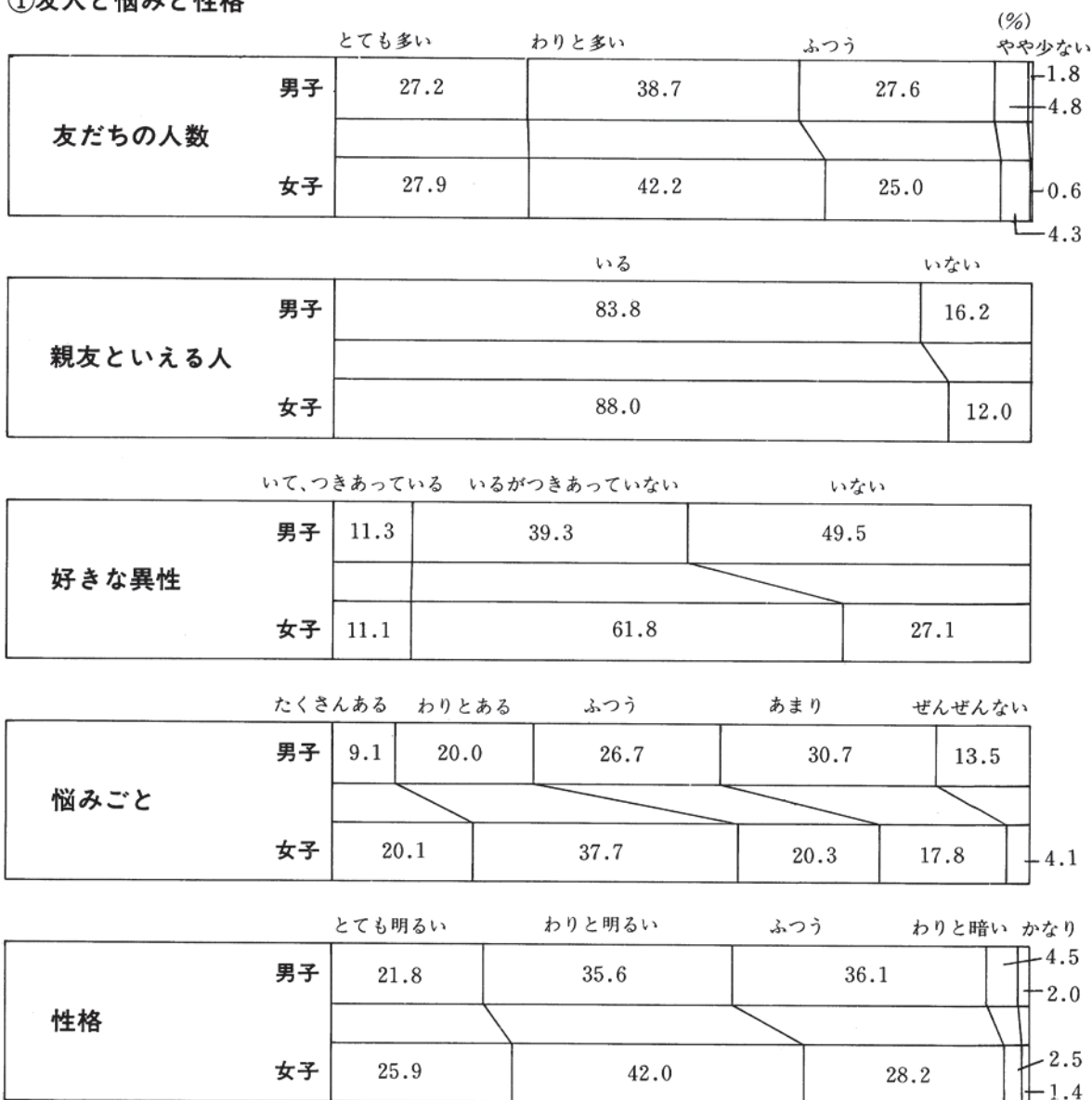
(%)

している	
男子	6.6
女子	47.0
(1年)	(47.8)
(2年)	(47.0)
(3年)	(46.3)

また、サンプルの属性を示すデータを図1に掲げた。子どもたちの85%前後が、親友と言える友人を持ち、男子の約50%（両思い11%、片思い39%）、女子の73%（両思い11%、片思い62%）が好きな異性をもっている。悩みごとのある者（たくさん、わりとあるとを合わせて）は、男子で約30%、女子58%、日記をつけているものは、（週に1～2回も含めて）男子では、わずかに22%、しかし、女子では73%となっている。この数字から見ると、女子は悩み多く内省的で、しかも日記をつけるのが好きという傾向が見いだされる。このように、もともと女子には、交換日記を好む素地のようなものがあるように見うけられる。しかし、これが次第に男子の間にも広がり始めた気配は、いったい何を意味するのだろうか。

〈図1〉子どもたちの自己評価（図中の度合いを示す細いワーディングは調査票見本を参照）

①友人と悩みと性格



②学校生活

		とても楽しい	わりと	ふつう	あまり楽しくない	(%)
毎日の学校生活	男子	19.7	38.7	28.6	8.3	ぜんぜん 4.6
	女子	24.6	45.4	21.6	6.8	1.6

		とてもよい	わりと	ふつう	ややわるい	かなり
成績	男子	3.7	15.5	44.6	22.2	14.0
	女子	11.8	50.8	23.5	12.5	1.4

		とても好き	わりと	ふつう	やや嫌い	かなり
スポーツ	男子	50.7	26.7	14.9	5.0	2.7
	女子	39.1	31.4	20.2	5.8	3.5

		運動系	文化系	その他
所属クラブ	男子	70.8	28.6	0.7
	女子	65.9	33.2	0.9

		とてもよくやっている	わりと	ふつう	あまりやっていない	ぜんぜん
クラブ・部活動	男子	26.2	24.5	24.6	12.9	11.7
	女子	24.9	33.5	23.7	11.1	6.8

③内的生活

		必ず毎日つける	だいたい毎日 週に1~2回	あまりつけない	まったくつけない	(%)
日記をつけているか	男子	2.7	4.8	9.9	78.4	
	女子	4.2	11.5	23.1	14.6	23.9

						(%)
		とても多い	わりと多い	ふつう	あまりない	ぜんぜん
勉強以外の本を読む	男子	25.8	28.3	26.5	15.3	4.1
	女子	20.9	35.7	26.7	14.9	1.7

		とてもとくい	わりと	ふつう	わりとにがて	とてもにがて
文章を書くことは	男子	3.7	9.6	30.8	29.7	26.2
	女子	5.8	20.9	37.1	26.1	10.1

		とてもうまい	わりとうまい	ふつう	すこしへた	とてもへた
字はうまいか	男子	5.8	11.5	25.7	25.0	31.9
	女子	3.7	14.8	45.3	18.7	17.5

2. 交換日記とは

交換日記の開始

本サンプルの女子では88.5%、男子では17.0%が交換日記の経験者であることはすでに述べた。では、交換日記は、いったい、いつ頃から始められるだろうか。表4-①にそれを掲げた。女子に例をとれば、小学校4年以前では約12%に過ぎないが、5年生から急に増加し、小学生時代に経験した者の割合は、約66%にもものぼっている。その後、中1に始めた者をあわせると約92%にも達することがわかる。すなわち、小5から中1までの3年間で、交換日記を始める時期とみてよいだろう。

グループの属性

初めての交換日記は、どんなグループで行われるのだろうか。表4-②、③、④を見てみよう。まず、人数は、女子の場合、65%が2人の小グループであり、多くても4人以内にとどまっている。人数が多いと、自分の手許に日記が戻ってくるのに日数がかかりすぎて、やりにくいのだそうである。しかし、男子の場合、6人以上の大グループも混じっている。これは、男子の交換日記の性質が、女子と少し違うことをうかがわせる。

また、表4-③のように多くは同じクラスで行われるようだが、女子の場合は、表4-④のように、圧倒的に同性のグループで、男子はむしろ、異性または異性混じりで行うことが多いようである。

〈表4〉初めての交換日記(男子=99、女子=460)

①開始時期

(%)

	女子	男子
小学3年	3.3	11.6
4年	8.7	6.1
5年	25.7	11.1
6年	28.4	25.8
中学1年	26.1	22.2
2年	7.4	19.2
3年	0.4	4.0

②グループの人数

(%)

	女子	男子
1人*	64.7	47.4
2人	18.0	9.3
3人	10.3	8.2
4人	3.9	5.2
5人	1.8	10.3
6人	0.4	11.3
7人以上	0.9	8.2

* = 自分は含めない

③グループの種類(年齢)

(%)

	女子	男子
同学年同級	62.6	58.7
同学年異級	32.4	35.9
上級	1.3	2.2
下級	0.4	2.2
混合	3.3	1.1

④グループの種類(性別)

(%)

	女子	男子
同性	96.5	22.9
異性	1.7	52.1
混合	1.7	25.0

交換日記の回数

次に交換日記の回数をみたのが、表5である。女子の場合、約3人に1人(36%)は、1回限りでやめてしまうが、2~3回くり返す者も多く、なかには4回以上のマニア(約4%)も見いだされる。なお交換日記のマニアには、同時に何組もの交換日記グループに所属していて、大変な量の日記をこなしているものが見られる。また、男子の場合、表が示すように、1回限りが多く、交換日記熱は、大分低いようである。

〈表5〉交換日記の経験回数

(%)

	1回	2回	3回	4回	5回以上
女子	35.7	32.8	27.4	2.8	1.3
男子	67.3	20.8	10.9	1.0	—

交換日記を始めた動機

交換日記を始めた動機については、鶴巻が行った調査の結果を引用した。(表6) これで見ると「現在つきあっている仲間との友情を深めるための」、また「クラスが離れて友情をつなぎとめる手段として」また「直接はつきあいにくい異性との関係を作るため」など、直接の動機はいろいろあるようである。

〈表6〉交換日記を始めた動機

(%) カッコ内実数

勧誘	仲のよい友だちにさそわれた	60.4(275)
	下級生に頼まれた	9.7(44)
	好きな異性にさそわれた	4.0(18)
連帯感	仲のよい友だちとクラスがわかれてしまった	25.2(116)
	あこがれの先輩とつながりをもちたかった	9.5(43)
	好きな異性とつながりをもちたかった	7.5(34)
	仲のよい友だちと秘密をもちたかった	4.2(19)
相互理解	仲のよい友だちのことを、もっと深く知りたかった	19.8(90)
	交換日記によりお互いに高められると思った	16.0(73)
	仲のよい友だちにもっと自分のことを知ってほしかった	11.2(51)
その他	口で言えないことでも日記なら書ける	38.9(176)
	流行していた	4.6(21)
	たいくつしのぎ	3.5(16)

(鶴巻景子 昭和54年度 東京学芸大学卒業論文より引用)

書く場所

また、日記を書く場所は、表7に掲げたように、多くは家庭においてだが、学校で授業中、または休み時間に書く場合も見られるようである。しかし、日記の内容によって書かれる場所がちがってくることは十分考えられる。異性との間の交換日記であれば、深夜一人で自室にこもって書くかもしれない。それが表8(日記の渡し方)にも表れている。女子の場合は3分の1、男子の場合は、半分以上がそのように、秘密めいた内容のものであるらしいことがわかる。

〈表7〉交換日記をいつ書くか

(%)

	よく・わりと書く		たまに書く		あまり書かない	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子
家でひまなとき	78.8	58.1	14.2	16.1	7.0	25.8
夜ねる前	72.5	57.0	15.3	8.6	12.2	34.4
家で勉強のあいま	49.4	45.7	24.6	21.3	26.0	33.0
授業中	6.8	16.0	20.7	9.6	72.5	74.4
学校の休み時間	5.9	13.0	20.8	7.5	73.3	79.5

〈表8〉交換日記の渡し方

(%)

	人前でどうと	できるだけ人目をさける	ぜったい人目をさける
女子	65.2	31.5	3.3
男子	47.2	37.4	15.4

その秘密性

表9に掲げたように、仲よしの友人の多くは、交換日記の存在を知っているようだが、あとは、親や担任も含め子どもにとってかなり身近な人々にさえ、その存在は隠されていることがわかる。ここで思い出すのは、本調査のサンプル校を依頼した時に、いくつかの学校から「うちの学校では、あまり交換日記が行われていないから」と断われたことである。表9には、「知らぬは教師ばかりなり」とも言えそうな結果が表れており、女子の80%、男子の65%は「担任は、自分が交換日記をしていることを知らないだろう」と答えている。

同様のことが表10にも表われている。交換日記の多くは、他人には「ぜったい見せない」と答えられており「仲よしの友人」以外には、両親といえども60%~70%が「ぜったい見せない」と答えている。「調査を実施して」で述べたように、交換日記の入手が困難をきわめたのは、当然のことだったかもしれない。

〈表9〉交換日記をしていることを知られているか

(%)

	知らない		知っているかもしれない		知っている	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子
担任の先生	79.6	65.2	9.4	7.4	11.0	27.4
クラブの人	65.3	73.0	17.7	13.5	17.0	13.5
同級の親しくない友	56.6	62.1	23.7	10.5	19.7	27.4
母親	29.3	55.0	15.4	18.0	55.3	27.0
仲よしの友人	11.8	21.3	17.2	17.0	71.0	61.7

〈表10〉交換日記を見せるか

(%)

	ぜったい見せない		なるべく見せない		見せてもよい	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子
父親	72.4	62.6	22.8	19.2	4.8	18.2
母親	64.5	59.8	25.0	20.6	10.5	19.6
担任	77.2	58.2	16.9	26.5	5.9	15.3
仲よしの同性	38.5	33.3	40.8	33.3	20.7	33.3
好きな異性	58.0	35.7	33.6	29.6	8.4	34.7
クラブの先輩	73.2	67.4	23.1	26.5	3.7	6.1
親しくない同性の級友	81.8	68.0	16.9	25.8	1.3	6.2
好きなスター・歌手	63.0	55.7	22.9	21.6	14.1	22.7

交換日記の保存

さて書き終わった日記は、どうなるのだろうか。表11に示すように女子の69%は「大切にしまっている」と答えているし、なかには「焼いた」者も(4%)含まれている。男子に比べると、女子にとって交換日記は、より個人的な意味をもつものであるらしいことがわかる。

〈表11〉交換日記の保存

(%)

	大切にしまう	しまう	焼いた	どこかわからない	その他
女子	69.1	12.0	4.1	5.0	9.8
男子	40.3	11.5	3.4	25.3	19.5

(男子=87 女子=418)

第Ⅱ章

交換日記の内容



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません

1. アンケート調査による結果

交換日記が、どのようなスタイルで行われるかを明らかにしたところで、次に「内容」を見てみよう。他人の目のとどかないところでひそかにつづられる交換日記には、何が書かれているのだろうか。

表12にそれを掲げた。(項目は、女子が「たくさん書く」内容の順にならべてある)まず、「たくさん・かなり」書かれる内容としては「その日の出来事」のように、たわいもないおしゃべりが男女ともトップで、次に女子の場合は「好きな異性のうわさ」や「自分の悩み」、さらに、「クラブ」や「先生」などを中心とした学校での問題がそれにつづいている。逆に頻度の少ないのは、「家庭内の問題」や、「社会的な話題」、「自分の将来のこと」などで、本来、思春期に足をふみ入れた彼らが、思索し、話題の中心としてとり扱っていいはずのテーマについては語られ方がきわめて少ない。人生や自分についてあれこれ悩み思索する態度は、残念ながら見いださない。パートⅡに掲げたように、第3位の「自分の悩み」にしたところで、「私、このごろ2キロも太ってしまったの、ヒカン、誰か助けて、これ以上太ったら、自殺するかもね、なーんちゃって」という調子で深まりがないのである。

しかし、人生についての省察はともかく、よく話題にされる異性のうわさ話や自分の悩みについて、彼らが交換日記に、他にかけがえのない役割を与えているかと言うと、そうでもないようである。表は省略するが「親友と何を話すか」を表12と同じような項目でたずねてみても、やはり上位3項目は同じ順序であり下位の項目まで、その並び方は大差がない。その上語られる内容も、むしろ交換日記の方が浅いようなのである。交換日記が、「万一人目についた時のことを考えて」ということもあるのだろうが、親友間で直接に話す場合よりも、十分に語り合われていないという感じを受ける。つまり、ふだん親友と話していることをほぼそのまま、または少し抑制しながら紙の上書きつらねていくので

あって、彼らは「日記」だからといって特別な構えを作らない。その点では、古い世代の人々が日記をつける際に意識的にも無意識的にも作り上げた、自己反省や思索、向上心などのポーズは、ここには見られない（ただし、初期に行われた交換日記には、その感じが残っている）さらに、くわしい内容は、次節に述べる実際の資料の「内容分析」にゆずろう。

〈表12〉 交換日記の内容

(%)

	女 子				男 子			
	たくさん 書 く	かなり 書 く	少 し 書 く	あまり・ ぜんぜん 書かない	たくさん 書 く	かなり 書 く	少 し 書 く	あまり・ ぜんぜん 書かない
1) その日の出来事	31.8 47.0 78.8		18.6	2.6	25.8 22.6 48.4		38.7	12.9
2) 好きな異性のこと	32.3 20.7 53.0		22.0	25.0	12.8 12.8 25.6		18.1	56.3
3) 自 分 の 悩 み	21.7 25.0 46.7		29.8	23.5	12.9 11.8 24.7		22.6	52.7
4) クラブのこと	12.1 26.8 38.9		29.1	32.0	9.8 15.2 25.0		23.9	51.1
5) 先生 の 悪 口	11.7 10.2 21.9		25.4	52.7	13.2 6.6 19.8		27.5	52.7
6) 好きなスターのこと	10.3	16.3	25.7	47.7	9.8	2.2	25.0	63.0
7) 学校・先生の不満	9.1	15.0	34.9	41.0	11.1	5.6	32.2	51.1
8) 友人の悪口	6.6	11.3	25.7	56.4	7.5	8.6	12.9	71.0
9) とりとめもないこと	6.0	8.7	15.0	70.3	13.0	6.5	13.0	67.5
10) テストの成績	5.7	15.2	36.0	43.1	7.6	13.0	29.3	50.1
11) 自 分 の 欠 点	5.5	13.7	25.1	55.7	5.4	7.5	18.3	68.8
12) 進 学 の 事 件	5.5	10.2	25.1	59.2	6.5	8.6	21.5	63.4
13) 勉強の悩み	5.1	12.3	36.6	46.0	11.0	6.6	22.0	60.4
14) エッチなこと	5.1	8.6	18.0	68.3	14.4	3.3	18.9	63.4
15) 相手の長所	4.6	10.8	33.6	51.0	5.4	8.6	20.4	65.6
16) 両親に対する不満	2.2	4.6	16.2	77.0	4.4	10.0	11.1	74.5
17) 家庭のもめごと	1.3	2.0	14.8	81.9	3.3	4.3	12.0	80.4
18) 自 分 の 長 所	1.1	3.1	14.0	81.8	5.4	2.2	17.2	75.2
19) 相手の欠点	0.9	3.5	18.4	77.2	3.2	6.5	10.8	79.5
20) 政治・社会のこと	0.9	0.9	5.1	93.1	7.6	4.3	17.4	70.7

2. 交換日記の内容分析

すでに「調査を実施して」の部分で述べたような方法で、われわれの手許に集まった交換日記は、中学生のものだけで18ケース（18グループ）延べ52人、47冊にのぼる。これらのケースの一覧を書かれた年代順に並べ、表13、14に掲げた。

〈表13〉 サンプル一覧（昭和54年～52年）

サンプル ナンバー	交換日記の期間	書かれた 時期	交換日記のメンバー	備 考
No. 1	中学1年→中学1年 2月 3月	S. 54	中学1年 女子 3名	<ul style="list-style-type: none"> ●質問とそれに対する答が多い ●一般的な話題が多い ●おもしろく書く工夫をしている
No. 2	中学2年→中学2年 11月 2月	S. 53～54	中学2年 女子 2名 同じクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●不良っぽい子である ●万引・性行為などについても記述されている ●悪い方へと影響されており、互いの向上は、まったくくない
No. 3	中学1年→中学1年 10月 3月	S. 53～54	中学1年 女子 3名	<ul style="list-style-type: none"> ●書いている内容は、あまり内面的なことではなく、内面的な話題については『学校で話そう』という ことで書くのをやめている ●日記のノートが小さいので、あまり内容を書かずに終わってしまう
No. 4	中学1年→中学1年 9月 11月	S. 53	中学1年 女子 6名 女子校	<ul style="list-style-type: none"> ●異性についての話題がほとんどなく、一般的な話題が多い ●絵が、あちらこちらに書かれている ●平均1ページずつしか書いていない
No. 5	中学2年→中学2年 9月 10月	S. 53	中学2年 女子 1名 中学3年 女子 1名 先輩	<ul style="list-style-type: none"> ●先輩・後輩という上下関係がなく、おなじ年の友達のように話している ●恋愛の相談相手 ●『ムカツク』という言葉が、ひんばんに使用されている ●手紙の交換から、交換日記となった
No. 6	中学1年→中学1年 5月 3月	S. 53～54	中学1年 女子 6名 同じクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●規則 <ol style="list-style-type: none"> 1. きれいに書くこと 2. 3日以上持っていたら罰をうける (日曜・祭日はぬかす) 次のノートの半額を出す 3. 1ページ以上、4ページ以内書く ●人数が多いため、内容も日常会話的なことが多い ●異性に関する話題はほとんどない
No. 7	中学2年→中学2年 4月 10月	S. 53	中学2年 女子 2名 ちがうクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●互いに反発し、けなしあっている ●BFの話題が日記の中心 ●友人や先生の悪口が多い
No. 8	中学1年→中学2年 3月 10月	S. 53	中学1年 女子 2名 同じクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●互いに恋愛について共通の悩みをもっている ●2年でクラスが別れてから、だんだん回数が増えてきている ●一番仲がよいというわけでもない
No. 9	中学1年→中学2年 2月 7月	S. 53	中学1年 女子 1名 中学2年 男子 1名 同じクラブの あこがれの先輩	<ul style="list-style-type: none"> ●女子のほうからさそった ●男子のほうは、不良っぽい ●ノートのむだ使いがめだつ ●恋愛関係というより、女子の片思い ●内容的には、互いの向上がない
No. 10	中学1年→中学3年 5月 6月	S. 52～54	中学1年 女子 5名	<ul style="list-style-type: none"> ●日記をやることについて、一時間問題がおこったよう だ ●途中でメンバー1人がやめている ●絵が随所に色とりどりに書かれている ●この日記の他にも、それぞれ別の人と交換日記を している

〈表14〉 サンプル一覽 (昭和48年～46年)

サンプル ナンバー	交換日記の期間	書かれた 時期	交換日記のメンバー	備 考
No.11	中学3年→中学3年 10月 3月	S. 48～49	中学3年 女子 2名	<ul style="list-style-type: none"> ●共通の趣味(クラシック音楽)についての話題が多い ●クラスがちがっているため 日常の直接的交流はあまりない ●友情を深めるために始めた
No.12	中学2年→中学3年 9月 3月	S. 48～50	中学2年 女子 3名 ちがうクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●クラスが別れたため始めた ●フォーク・グループを作ろうとしている仲間 ●多少 不良っぽいところがある ●友人の悪口が多い
No.13	中学2年→中学3年 3月 3月	S. 48～49	中学2年 女子 3名 同じクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●班日記の延長として始めた ●班日記で指導されているためか、内容は、常に互いを高めあっている ●先生に最後に見せる約束になっているため、時折先生を意識して書いている ●詩を多く書いている
No.14	中学2年→中学3年 1月 3月	S. 48	中学2年 女子 2名 同じクラブ ちがうクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●クラブの話題が多い ●クラスがちがいが、直接交流できないので始めている ●出来事を書いているだけ
No.15	中学3年→中学3年 9月 12月	S. 47	中学3年 女子 2名 同じクラス	<ul style="list-style-type: none"> ●とても仲がよく、友情をちかいあっている ●BFについての悩みが中心 ●青春や恋愛についての名言を多数引用し、人生や愛について考えている
No.16	中学1年→中学3年 3月 3月	S. 46～48	中学1年 女子 3名	<ul style="list-style-type: none"> ●1冊目より3冊目のほうが親密度が高くなり、内容も豊かになっている ●好きな人やBFについての話題が多い ●クラスはちがっていても互いに信頼し合っている ●3年生になると受験の話題がふえている
No.17	中学1年→中学2年	S. 46～47	中学1年 女子 2名 女子校	<ul style="list-style-type: none"> ●けんかの仲なおりにはじめた ●内容は出来事のられつ ●異性の話題がほとんどない
No.18	中学3年→中学3年 9月 3月	S. 46～47	中学3年 女子 2名 ちがうクラス 学級委員どうし 同じクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ●クラスに対する意識が高い ●一番仲の良い友だちではあるが、真の友だちとしては、認めていない ●性格について、よく考えている ●常に互いの向上をはかっている

一番新しいケースは昭和54年 (No 1)、一番古いケースはおそらく昭和46年 (No.16) ごろに行われていたものと推定される。長いものはおよそ3年間にもわたって書き続けられ (No.10、16)、短いものは、1、2か月 (No.1、4、5) で終わってしまっているものもある。

これらの内容を分析するための方法であるが、内容分析とえば、ベレルソンによるマスコミュニケーション内容の分析が思い出される。しかし、政治的社会的態度などの大きな対象についての方法を、日記のような細かいニュアンスをもったものに対して行うことは、いまひとつ適切さを欠くような感じもある。したがってここでは、シャルロツテ・ビューラーの行った日記の比較分析の方法に準じて、省察・異性・学校・家庭生活など15項目のチェックリストを作成し、47冊の日記を、①行数(1つのテーマについて、何行書かれているかをカウントする)、②話題数(1つの話題的まとまりをチェックリストのテーマにそってカウントする)、の2つの方法で整理した。これらについては、表15に3つの例を掲げた。このようにして分析された47冊のデータを、トータルして平均値を算出したのが表16である。(2つの分析方法を比較すると、話題数より、行数の方が、より内容を適切に捉え

られる感じがするので、以下は、行数のデータを使用することにする)

まず表16を見よう。全体としては学校生活に関する話題が多く、ついで異性の話題、家族や自分の問題の順になっている。日記と言えば思い起こされるような「省察」(人生や社会、自我についての洞察や観察など)がきわめて少ないのが特徴である。もっとも中3になると、このテーマの取り扱いはさすがに飛躍的に増加し、中2の3%から13%にも達している。しかし、それでもテーマの中では依然最下位である。あたかも現代の中学生の中からは、内省や思索が失われているかのようである。むろん、交換日記以外の行動、たとえば、個人的な日記の中や親友とのおしゃべりの中では、もっとシリアスなテーマが語られる余地は残されているとも考えられる。しかしすでに前節(アンケート調査による分析)でかいま見たように、いま、どうもこうしたテーマの深まりは、どのような人間関係や場の中でも期待できないようにも思われる。

〈表15〉分析の例(行数)

No.6			No.2			No.15		
		% (行数)			% (行数)			% (行数)
省察	人生観・自我	0.8(9)	人生観・自我	5.6(35)	人生観・自我	10.4(114)		
	政治・芸術	2.7(30)	政治・芸術	0.0(0)	政治・芸術	9.3(102)		
異性	好き・あこがれ	0.5(6)	好き・あこがれ	32.4(201)	好き・あこがれ	18.1(199)		
	友人の恋愛	2.7(30)	友人の恋愛	0.5(3)	友人の恋愛	5.8(64)		
	その他	0.0(0)	その他	2.9(18)	その他	2.8(31)		
学校	友だち	19.4(215)	友だち	10.5(65)	友だち	20.0(220)		
	授業	4.3(48)	授業	5.6(35)	授業	0.9(10)		
	テスト	4.1(45)	テスト	0.3(2)	テスト	0.2(3)		
	先生	0.5(6)	先生	4.4(27)	先生	1.3(14)		
	クラブ	1.2(13)	クラブ	0.0(0)	クラブ	2.3(25)		
	その他	7.0(77)	その他	11.6(72)	その他	3.3(36)		
家庭生活	TV・スター・歌手	26.7(296)	TV・スター・歌手	0.6(4)	TV・スター・歌手	7.0(77)		
	家族	6.0(67)	家族	0.0(0)	家族	2.0(22)		
	その他	7.5(83)	その他	5.3(33)	その他	3.6(40)		
その他	16.6(184)	その他	20.3(126)	その他	12.9(142)			

次に、異性についての話題、すなわち自分や仲間の「好きな人」についての噂や思いについての表現は、学年ごとの推移が大きいことがわかる。1年生ではひそやかに語られ、2年生になると壇を切ったようにこのテーマに関心が集中する。しかし受験をひかえた3年生になると、やや落ち着きを取り戻す、といった推移が見いだされる。逆に1年生で他の年齢より多く語られるのは、自分の趣味のこと、家庭のことなどで、まだ家族や親から大きく離れていない幼い彼らの姿が見いだされるようである。

また、TV、雑誌で見たスターのゴシップなどが、熱気をこめて語られるのもこの時期である。外界に対して臆病で、家族の中に位置づけられたまま、狭い個人的な世界の中に住む彼らの様子が、よく表れている。

また、各々のケースは、表13,14に示したように、それぞれ特色をもっている。それを数字で表現した表15を見てみよう。No.6は、中1の同クラスの女子6人の交換日記で、○をつけたように「友だち」「TV、スター、趣味」が大きいウエイトを占めるのが特徴である。No.2は、中2のやや非行化傾向のある同クラスの女子2人のもので、話題はもっぱら相互の「ボーイフレンド(ステディ)」のことに集中している。No.15は中3の同クラスの女子2名で行われたもので、他より「省察」や「友人」についてのテーマが多く、明るく健康な(ただし、やや古きよき時代の女子中学生を思わせる)青春が表出されていることがわかる。

〈表16〉内容分析の結果(行数)

(%)

		中学1年		中学2年		中学3年	
省察	人生観・自我	1.1	} 2.4	2.2	} 3.2	5.9	} 12.9
	政治・芸術	1.3		1.0		7.0	
異性	好き・あこがれ	3.4	} 4.9	32.5	} 35.7	13.5	} 18.2
	友人の恋愛	0.7		1.4		2.8	
	その他	0.8		1.8		1.9	
学校生活	友だち	14.5	} 37.7	16.6	} 30.7	17.6	} 37.3
	授業	3.8		3.2		1.8	
	テスト	4.9		1.5		2.3	
	先生	2.0		1.9		2.5	
	クラブ	4.5		2.9		5.5	
	その他	8.0		4.6		7.6	
家庭生活	TV・スター・趣味	12.0	} 27.6	4.6	} 9.6	7.3	} 17.7
	家族	3.5		1.1		3.6	
	その他	12.1		3.9		6.8	
その他		27.4		20.8		13.9	

さて18ケースのそれぞれについての分析の結果を、表17にまとめた。すでに指摘したような、学年の推移に伴う全体的傾向が、この表からも見いだされるとともに、各ケースがそれぞれ個性をもっていることもわかるであろう。

〈表17〉 交換日記の記述型（行数）

(%)

番 サ ン プ ル 号 ル	中 学 1 年					中 学 2 年						中 学 3 年						
	No. 6	No. 3	No. 1	No. 4	No.17	No.10	No. 9	No. 7	No. 8	No. 2	No. 5	No.12	No.14	No.18	No.16	No.15	No.11	No.13
省 察	3.5	—	0.9	4.9	4.9	4.4	1.8	—	2.3	5.6	2.2	7.1	0.4	9.7	10.4	19.7	0.4	24.0
恋 愛	3.2	0.6	13.1	0.9	—	11.5	29.0	41.4	60.2	35.8	32.0	15.7	0.8	9.6	27.7	26.7	20.5	6.8
友 人	19.4	16.1	5.9	16.9	18.7	11.2	17.4	12.6	13.6	10.5	18.2	27.2	12.4	21.4	12.6	20.0	8.6	25.2
学 校 生 活	17.1	17.4	8.9	43.1	23.9	27.8	12.0	23.0	10.7	32.4	11.7	5.8	45.7	35.1	21.1	8.0	17.6	15.4
家 庭 生 活	40.2	27.3	42.1	26.1	14.2	15.7	6.7	3.2	3.5	5.9	10.6	27.4	25.4	24.2	6.5	12.6	42.4	19.6
雑 記	16.6	38.7	28.2	12.7	38.3	29.4	33.1	19.8	9.7	20.3	25.3	16.8	13.5	15.2	21.7	12.9	10.5	9.0
記 述 型	家 庭 生 活 型	雑 記 型	家 庭 生 活 型	学 校 生 活 型	雑 記 型	雑 記 + 学 校 生 活 型	雑 記 + 恋 愛 型	恋 愛 型	恋 愛 型	恋 愛 + 学 校 生 活 型	恋 愛 型	家 庭 生 活 + 友 人 型	学 校 生 活 型	学 校 生 活 型	恋 愛 型	恋 愛 型	家 庭 生 活 型	友 人 + 省 察 型

交換日記の意味



※写真は本文テーマとはいっさい関係ありません

1. 交換日記の役割

以上のように、アンケート調査と日記の内容分析の結果を総合してみると、現代の女子中学生の生活や精神的な成長にとって、いったい交換日記がどんな役割を果たしているか、ほんやりとその輪郭が浮かび上がってきたようにも思われる。しかし、ここで、もう一度アンケート調査の結果を引用しながら、この問題についての考察を加えよう。

グループの性格

交換日記を介して作られたグループは、果たして、われわれの仮説のように、かつてのギャング集団の代わりなのだろうか。

表18は、「もしあなたが、たいして好きでもない相手から交換日記をしようとさそわれたら」という質問に対する答えである。「つき合いとしてやってみる」「うまく言って断わる」のうち、女子は56%しか断わると答えていない。つまり44%は、たいして好きでなくても、たまたまさそわれれば、つき合いとして行うわけである。こうした成立の事情をもったグループでは、内容が平凡だったり、一般的だったりするのも当然であろう。日記によって、非常にシリアスな内容をもつものと、平凡なものが大きく分かれてくるのは、このような事情によるものであろう。われわれは、47冊の日記を入手したが、男子どうしのは1冊も入手することができなかつたし、異性間のももわずか1冊しか入手できなかった。(No.9) おそらく、もっとシリアスな日記があるはずである。しかし、焼き捨てられてしまったものや、十数年を経ても、絶対他人の目にふれさせまいとして、ひそかにしまわれているものも多いと思われる。

(%)

〈表18〉 たいして好きではない友から
「交換日記をしよう」と言われたら

	女 子	男 子
断 わ る	55.5	61.6

(男子=574 女子=519)

〈表19〉 交換日記の相手とのつきあい方 (男子=38 女子=250)

① 日常のつきあいの程度 (%)

	親 友	かなり 仲よし	ふつうの 友 人	あまり仲 よしでない
女子	58.8	31.6	8.4	1.2
男子	34.2	36.8	23.7	5.3

② 日常の会話 (%)

	毎 日 よく話す	わりと よく話す	あまり 話さない	ほとんど 話さない
女子	56.0	32.4	9.6	2.0
男子	23.7	36.9	28.9	10.5

③ 学校の帰り (%)

	よく 一緒に帰る	時々 一緒に帰る	ほとんどない
女子	32.2	30.2	37.6
男子	13.5	32.4	54.1

④ 電話での会話 (%)

	毎 日 のように話す	週2・3 回 話す	たまに す	ほとん どな
女子	8.8	16.9	49.4	24.9
男子	2.6	10.5	42.1	44.8

それと関連させて、交換日記の「相手」の分析を行ったのが表19である。これには、性差が見いだされる。女子は、親友で日常よく話している相手を選ぶ傾向がある。失われた放課後の接触の代わり、と考えれば、この場合交換日記グループは、ギャング集団の身代わりと考えてもよさそうである。

それに比べると男子は、ふだん親しくつきあえる人とは、わざわざ交換日記をするまでもなく、直接つき合う機会が少ない場合に、交換日記を用いる傾向が見られる。これは男子の場合、交換日記を異性を対象にする傾向が、女子よりも多いことが、関係しているのであろう。

男子のギャング集団は（あるとしたら）もっと直接的なむすびつきや行動が可能なのかもしれない。

交換日記の役割

以上のようなデータと分析から、われわれは、交換日記の意味やその機能を、大まかに次の4つと考えることができるだろう。

①. ギャング集団の身代わりとして

交換日記のグループの中には、直接友人と行き来できない現代の生活の条件の中で、はからずも見つけ出した仮のギャングのような性格をもつグループがあるようである。また、男子の場合、本来は、より直接的な友人関係を保ちえたのが、同様に現代的な生活条件の下で、それが困難になってきたため、次第に交換日記が行われ始めたのかもしれない。

②. 男女交際のメディアとして

交換日記をある種の男女交際の手段とする場合も見いだされるようである。戦後30年を経過しても、わが国の男女交際は、アメリカほどはフランクになりえなかった。現在でもラブレターを出すことには心理的な抵抗がある。しかし「交換日記をしてよ」と相手に持ちかけることは、抵抗感なくできるものらしい。No.9がそのよい例で、中2の上級生に彼女がいることを知りながら、中1の女子がねだって交換日記の相手になってもらう。そして、恋人である彼女も、彼がせがまれて下級生の女の子と交換日記をしていることを知っているのである。しかし、三者間にもめごとは起こらない。交換日記に

はこのような現代的な意味があるようである。

③個人的親密さの要求から

ごく限定された友人との間で、日常はストレートに話題にしにくい、または、禁じられているテーマ（時に非道徳な行為など）について、他には内緒で、心情を吐露しあい、なぐさめ合い、励まし合う、といった展開が見られる場合がある。これは、①のギャング代行のグループより、より結びつきの固い側面を持っている。親も教師も、クラスの普通程度の仲よしグループにも、決してうち明けないテーマが語られる。No.2の万引き、性体験を記述しあう2人組の例はそれであろう。こうした結束の強さは、たまたま学校の友人達から疎外された、アウトローたちの結びつきをより強化することにもつながるかもしれない。現実には自分のリファレンス・グループが得られず、交換日記仲間にそれを求める。しかし、この種の日記や結びつきは、人目には触れにくいと思われる。

④一種の遊びとして

そのほか、軽く、何気ない遊び、流行としての交換日記も見られるようである。

2. 交換日記の評価

では、交換日記を経験した子どもたちは、この体験をどう評価するのだろうか。表20は、「交換日記は、子どもからおとなになるまでに、何回かしたほうがよい、という人と、必要ない、という人がいますが、あなたはどう思いますか」とたずねた結果である。全学年を通してみると、男子では否定的な者が多く(41%)、女子の方が(あまり、まったく必要ないをあわせて10%)高い評価を与えていることがわかる。学年の推移をみると、交換日記の経験の最中である1年生に期待を含めて評価が高く、受験をひかえて、友人関係以外にも、社会的な目を開くようになる3年生では、否定こそしないが、「まあ、やったほうがいいだろう」ぐらいの消極的な肯定が増えてくるのはおもしろい。

〈表20〉 交換日記の必要性

① 全学年

(%)

	ぜひ必要	できれば必要	まあ必要	あまり必要でない	まったく必要ない
女子	22.9	42.0	25.4	8.9	0.8
男子	5.7	17.6	36.1	23.9	16.7

② 学年による推移(1,3年・女子)

(%)

	ぜひ必要	できれば必要	まあ必要	あまり必要でない	まったく必要ない
1年女子	32.8	44.5	16.8	5.9	—
3年女子	22.0	37.8	30.0	9.3	0.9

さて、その評価を直接表にしたのが、表21である。全体としては、「日頃わからない相手のことがわかった」「友情が結ばれた」「毎日の生活が楽しくなった」などの積極的な肯定者が多いが、男子には「暇つぶしに役立った」「エッチなことにくわしくなった」などの消極的な肯定者も多く、また、「勉強時間が減った」など、否定的な意見の者も無視できない割合で存在している。全体としては、生活の色どり、日常的な楽しみ、友人関係を形成する一つの方法などの評価はされても「悩みがなくなる」などの大きな意義を指摘している者は少ないようである。むしろ、すでに指摘したように、グループの性格によって、彼らの評価も違ってくることは、考えられる。

〈表21〉 生活が変わったか (男子=99 女子=460)

(%)

	女 子					男 子					
	とても そう思う	かなり	少し	あまり	まったく そう 思わない	とても そう思う	かなり	少し	あまり	まったく そう 思わない	
肯 定	毎日の生活が楽しく なった	11.5	22.4	33.7	25.2	7.2	20.0	15.2	27.2	14.1	22.5
		33.9			32.4		35.2			36.6	
	友情が結ばれた	28.1	27.1	26.0	12.7	6.1	21.9	17.6	28.6	14.3	17.6
		55.2			18.8		39.5			31.9	
	悩みがなくなった	13.1	17.4	29.8	23.7	16.0	18.7	11.0	19.8	19.8	30.7
	30.5			39.7		29.7			50.5		
ユーモアのセンスが 身についた	6.5	17.6	23.7	33.0	19.2	17.6	13.2	15.4	20.9	32.9	
	24.1			52.2		30.8			53.8		
日頃わからない相手 のことがわかった	30.6	25.8	22.6	13.8	7.2	27.3	21.6	17.0	11.4	22.7	
	56.4			21.0		48.9			34.1		
否 定	暇つぶしに役立った	7.0	10.6	24.7	30.1	27.6	14.3	14.3	14.3	26.4	30.7
		17.6			57.7		28.6			57.1	
	エッチなことなどに くわしくなった	2.0	2.7	8.1	24.5	62.7	15.4	5.5	11.0	16.5	51.6
		4.7			87.2		20.9			68.1	
	自分が前よりくだら なくなった	2.7	2.1	6.4	29.9	58.9	6.7	—	12.4	27.0	53.9
	4.8			88.8		6.7			80.9		
時間のむだ使いだった	2.5	2.9	5.2	22.5	66.9	7.7	—	13.2	25.3	53.8	
	5.4			89.4		7.7			79.1		
勉強する時間が減った	1.8	2.5	6.6	23.7	65.4	10.1	3.4	10.1	21.3	55.1	
	4.3			89.1		13.5			76.4		

〈表22〉 楽しみの度合 (男子=574 女子=519 ただし「交換日記」のみ男子=38 女子=250)

(%)

	とても楽しい		どちらかといえば 楽しい		ふ つ う		つまらない	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子
友と遊びに行く	72.2	59.3	18.2	24.6	8.2	13.7	1.6	2.3
友 と 雑 談	67.4	34.3	18.7	31.6	10.9	29.4	3.0	4.7
交 換 日 記	38.7	31.8	31.1	25.0	25.8	27.3	4.4	15.9
マ ン ガ	38.6	30.9	25.7	27.6	29.4	28.9	6.3	12.6
ク ラ ブ	31.1	27.1	30.4	25.8	26.8	32.8	11.7	14.3
T V 視 聴	25.8	28.6	32.7	29.6	38.5	36.3	3.0	5.5

そして表22に掲げたように、交換日記は、青春の一つの色どりや楽しみであったとしても、やはり、それは、友だちとの直接的な接触（おしゃべりや遊びに行く）には、及ぶべくもないようである。マンガを読んだり、クラブ活動をしたりと、TVを見たりするのと、ほぼ同列の楽しみでしかないことも見いだされるようだ。

また、表23に見いだされるように、ほんとうに困った時は、多く「仲のよい友人」に直接相談するようであり、さらに、それよりも多くの子どもたちが、「誰にも相談しない」と答えているのが目をひ

く。思春期の門をくぐり、今人生の悩みを少しずつ体験し始めている彼らが、大人と同じように、その悩みを自分の中で受けとめ、一人でそれに耐えようとしたり、それを克服しようとしている様子がわかる。その意味でも交換日記には、それほど大きな意味づけはできないようである。

また、表24は、鶴巻の調査から、すでに交換日記を終えた生徒たちに、その後の相手とのつき合いの状況をたずねたデータを引用した。ほぼ60%は今も親しくつき合っているが、40%は疎遠になっている様子が見られる。また、表24では、現在交換日記をしている者たちに、いつまで交換日記が続くと思うかたずねたものである「一生、または、高校や大学まで」と見通しをもっている者はごくわずかしかない。せいぜい中学卒業までで、それほど長期間継続するものとは、誰も思っていないようである。女子の場合、「卒業まで」とする傾向が多いように見られるが、これは、(表は省略したが)3年生が「学年の終わりまで」のつもりで「卒業まで」と答えている例が多いため、このような数字になったようである。すなわち、多くの場合、せいぜい一年間、短い場合にはほんの数か月間の、短い状況的なものとして、彼らが交換日記を捉えている様子がわかる。

〈表23〉 困った時の相談相手 (男子=574 女子=519) (%)

	交換日記に書く		仲のよい友に相談する		父母または父か母に相談する		誰にも相談しない	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子
家でのめごと	14.3	1.4	35.6	13.2	13.0	13.6	48.8	67.6
両親の無理解	18.9	1.7	59.7	27.9	1.4	1.9	28.8	53.8
自分の性格	27.0	1.9	67.1	30.0	17.6	14.3	18.7	53.0
スタイルの悩み	18.5	0.9	41.2	14.8	19.2	6.0	42.2	75.4
けんか	27.6	1.6	55.1	29.8	17.4	10.2	26.0	55.2
好きな人についての悩み	33.2	2.1	75.1	27.9	5.4	1.6	21.0	68.5
成績が悪かった時	14.1	1.4	38.5	24.0	32.0	31.8	34.5	44.9
クラブのめごと	27.2	1.7	68.4	29.7	16.9	10.5	17.5	50.8
勉強がわからない時	7.9	1.7	69.3	48.5	21.0	17.3	6.6	22.6

〈表24〉 交換日記後の友人関係 カッコ内実数(%)

交換日記をやめると同時につきあわなくなった	7.5 (5)	40.3
顔をあわせればあいさつぐらいはする	10.9 (22)	
時々話したりする	21.9 (44)	
交換日記をしていたころほどではないが親しくつき合っている	22.4 (45)	59.7
交換日記をしていたころと同じくらい親しくつき合っている	29.9 (60)	
交換日記をしていたころ以上に親しくつき合っている	7.5 (5)	

(鶴巻景子による)

〈表25〉 交換日記はいつまで続くと思うか (男子=38 女子=250) (%)

	この先長くない	学年が変わるまで	卒業まで	高校・大学まで	一生
女子	11.2	17.4	61.9	5.4	4.1
男子	28.6	20.0	28.6	8.6	14.3

調査票見本

1. あなたは、今までに交換日記をしたことがありますか。

1 ある 2 ない

上の質問で、1 あると答えた人は、いつ頃、だれ（相手の学年・性別・人数）としていましたか。今までした交換日記すべての場合を書いてください。

<例>

A)	期間	小学 1年3学期頃から → 小学 中学 2年	1学期頃まで 現在も続けている
B)	相手	同学年 (同じクラス) ちがうクラス 男__人 女__人 上級生 下級生 男__人 女__人	

上のように書くと、中学1年の3学期に同じクラスの女子2人（自分をのぞいて）と始めたということになります。

イ 初めての交換日記

A)	期間	小学__年__学期頃から → 小学__年 中学__年	__学期頃まで 現在も続けている
B)	相手	同学年 (同じクラス) ちがうクラス 男__人 女__人 上級生 下級生 男__人 女__人	

ロ 次の交換日記（上とちがうグループとした場合）

A)	期間	小学__年__学期頃から → 小学__年 中学__年	__学期頃まで 現在も続けている
B)	相手	同学年 (同じクラス) ちがうクラス 男__人 女__人 上級生 下級生 男__人 女__人	

ハ 次の交換日記（またちがうグループとした場合）

A)	期間	小学__年__学期頃から → 小学__年 中学__年	__学期頃まで 現在も続けている
B)	相手	同学年 (同じクラス) ちがうクラス 男__人 女__人 上級生 下級生 男__人 女__人	

ニ 上で書ききれない人は下に同じようにして書いてください。

2. もしあなたが、次のようなことで **困った** とします。あなたはどうしますか。

	1 交換日記に書く	2 仲のよい友だち に相談する	3 母に相談する	4 父に相談する	5 兄弟に相談する	6 先生に相談する	7 誰にも相談し ない
(1) 家庭内にもめごとがあったとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(2) 両親が無理解なとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(3) 自分の性格について気になるとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(4) スタイルや顔について悩んでいるとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(5) けんかしたり、仲間はずれにされたとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(6) 好きな人について悩んでいるとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(7) テストの成績が悪かったとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(8) クラブでもめごとがあったとき	(1)	2	3	4	5	6	7)
(9) 勉強でわからないことがあったとき	(1)	2	3	4	5	6	7)

3. あなたは、次のようなことがどのくらい **楽しみ** ですか。(いま交換日記をしていない人は、(3)交換日記を書くこと)を線で消してください。(1から5のうちの1つだけに○をつけてください)

	1 とても 楽しい	2 どちら かとい えば 楽しい	3 ふつ つ	4 つま らない どち らか とい えば つま らない	5 つま らない どち らか とい えば つま らない
(1) 仲のよい友だちと休みの日に遊びに行くこと.....	(1)	2	3	4	5)
(2) テレビを見ること.....	(1)	2	3	4	5)
(3) 交換日記を書くこと.....	(1)	2	3	4	5)
(4) 友だちと雑談すること.....	(1)	2	3	4	5)
(5) クラブ・部活動すること.....	(1)	2	3	4	5)
(6) マンガを読むこと.....	(1)	2	3	4	5)

4. 交換日記は、**子どもから大人になるまでに、何回かした方がいい** という人と、**必要でない** という人がいますが、あなたはごどう思いますか。(次から1つ選んで○をつけてください)

1. ぜひしたほうがいい 2. できればしたほうがいい 3. まあしてもよいだろう 4. あまり必要でない 5. まったく必要でない

5. もしあなたが交換日記を**するとしたら** (いましている、またはするとしたら) **どんな人** してみたいですか。(1つ○をつけてください)

	1 ぜひ して みた い	2 でき れば し て み た い	3 し な く て も よ い	4 あ ま り し た く な い	5 ぜ し た く な い
(1) 親友といえる友だちと.....	(1)	2	3	4	5)
(2) 好きな異性と.....	(1)	2	3	4	5)
(3) 担任の先生と.....	(1)	2	3	4	5)
(4) あこがれの先生と.....	(1)	2	3	4	5)
(5) クラブの同性の先輩と.....	(1)	2	3	4	5)
(6) クラブの異性の先輩と.....	(1)	2	3	4	5)
(7) かわいい下級生と.....	(1)	2	3	4	5)
(8) 好きなスター、歌手と.....	(1)	2	3	4	5)

6. もし、あなたがこれから交換日記を**するとしたら**どのような希望がありますか。(それぞれ1つに○をつけてください)

- (1) 相手の人数 (イ, 1人 ロ, 2~3人 ハ, 4~5人 ニ, 多くの人)
 (2) 性別 (イ, ぜったい同性 ロ, ぜったい異性 ハ, どちらでもよい)
 (3) つきあい (イ, ふだんクラスでつきあっている人
 ロ, ふだんは直接つきあえない人(クラスや学年がちがう場合など)
 ハ, 直接は、つきあいにくい人(たとえば異性の友だち)

7. もし、あなたが**たいして好きでもない友だち**から「交換日記をしよう」といわれたらどうしますか。(どちらか1つに○をつけてください)

1. つきあいとしてやってみる 2. うまく言ってことわる

8. あなた自身のことについてうかがいます。自分にあてはまると思うところに○をつけてください。

(1) 毎日の学校生活は.....	とても 楽しい	わりと 楽しい	ふつ つ	あまり 楽しくない	ぜんぜん 楽しくない
(2) 毎日、日記をつけていますか.....	必ず毎日 つける	だいたい 毎日つける	週に 1~2回	あまり つけない	まったく つけない
(3) 勉強以外の本を読むことは.....	とても 多い	わりと 多い	ふつ つ	あまり ない	ぜんぜん ない

(4) クラブ・部活動は.....	とてもよく やっている	わりと やっている	ふつう	あまり やっていない	ぜんぜん やっていない
(5) 友だちの人数は.....	とても 多い	わりと 多い	ふつう	やや 少ない	かなり 少ない
(6) スポーツは.....	とても 好き	わりと 好き	ふつう	やや 嫌い	かなり 嫌い
(7) 親友といえる人は.....	いる		いない		
(8) 性格は.....	とても 明るい	わりと 明るい	ふつう	やや 暗い	かなり 暗い
(9) 友だちに人気がありますか.....	とても ある	わりと ある	ふつう	あまり ない	ぜんぜん ない
(10) 文章を書くことは.....	とても とくい	わりと とくい	ふつう	わりと にがて	とても にがて
(11) 悩みごとは.....	たくさん ある	わりと ある	ふつう	あまり ない	ぜんぜん ない
(12) 字はうまいですか.....	とても うまい	わりと うまい	ふつう	すこし へた	とても へた
(13) 外向的ですか.....	かなり 外向的	まあ 外向的	ふつう	まあ 内向的	かなり 内向的
(14) 成績は.....	とても よい	わりと よい	ふつう	やや わるい	かなり わるい
(15) 好きな（異性）がいますか.....	いて つきあっている		いるが つきあっていない		いない

9. いま親友（または親友に近い人）がいる人だけ教えてください。
あなたは「親友」と次のようなことをどのくらいまで話しますか。

	とても 話す	わりと 話す	少し 話す	あまり 話さない	ぜんぜん 話さない
(1) その日の出来事.....	1	2	3	4	5
(2) 好きな人（異性）のこと.....	1	2	3	4	5
(3) 家庭のもめごと.....	1	2	3	4	5
(4) 相手の欠点.....	1	2	3	4	5
(5) 自分の悩み.....	1	2	3	4	5
(6) (相手以外の) 友人の悪口.....	1	2	3	4	5
(7) テストの成績.....	1	2	3	4	5
(8) エッチなこと.....	1	2	3	4	5
(9) 進学のこと.....	1	2	3	4	5
(10) 両親に対する不満.....	1	2	3	4	5

<これから9ページまでは、交換日記を今しているか、
今までにしたことのある人だけお答えください。>

10. あなたが交換日記をしている（していた）ことを次のような人は知っている（または当時知っていた）と思
いますか。

	よく 知っている	たぶん 知っている	知っている かもしれない	たぶん 知らない	まったく 知らない
(1) お母さんは.....	1	2	3	4	5
(2) 担任の先生は.....	1	2	3	4	5
(3) 仲のよい友だちは.....	1	2	3	4	5
(4) 同じクラスのたいして仲のよくない友だちは.....	1	2	3	4	5
(5) クラブの人たちは..... (クラブに入っていないければぬかす)	1	2	3	4	5

11. あなたは次のような人たちが、あなたの交換日記をぜひ見せてほしいと言ったらどうしますか。

	見せてもよい	なるべく見せない	ぜったい見せない
(1) お父さん.....	1	2	3
(2) お母さん.....	1	2	3

	見せてもよい	なるべく見せない	ぜったい見せない
(3) 担任の先生	1	2	3
(4) とても仲のよい同性の友だち	1	2	3
(5) 好きな異性の友だち (いるとして)	1	2	3
(6) クラブの先輩	1	2	3
(7) クラスでたいして仲のよくない同性の友だち	1	2	3
(8) 好きなスター, 歌手	1	2	3

12. あなたは交換日記にどんなことを書きますか。(書きましたか) あなたの思うところに○をつけてください。

	たくさん書く	かなり書く	少し書く	あまり書かない	ほとんど書かない
(1) その日の出来事	1	2	3	4	5
(2) 好きな人(異性)のこと	1	2	3	4	5
(3) 家庭のもめごと	1	2	3	4	5
(4) 相手の長所	1	2	3	4	5
(5) 自分の長所	1	2	3	4	5
(6) 好きなスター, 歌手のこと	1	2	3	4	5
(7) クラブ活動のこと	1	2	3	4	5
(8) 先生の悪口	1	2	3	4	5
(9) 相手の欠点	1	2	3	4	5
(10) 自分の欠点	1	2	3	4	5
(11) 自分の悩み	1	2	3	4	5
(12) (相手以外の)友人の悪口	1	2	3	4	5
(13) テストの成績	1	2	3	4	5
(14) 勉強についての悩み	1	2	3	4	5
(15) エッチなこと	1	2	3	4	5
(16) 学校や先生についての不満	1	2	3	4	5
(17) 進学のこと	1	2	3	4	5
(18) 両親に対する不満	1	2	3	4	5
(19) 今の政治・社会の出来事	1	2	3	4	5
(20) とりとめもないこと	1	2	3	4	5

13. あなたは、いつ交換日記を書きますか。(書きましたか)

	よく書く	わりと書く	たまに書く	あまり書かない
(1) 学校の授業時間中	1	2	3	4
(2) 学校の休み時間	1	2	3	4
(3) 家でひまなとき	1	2	3	4
(4) 家で勉強のあいま	1	2	3	4
(5) 夜ねる前	1	2	3	4
(6) その他 ()	1	2	3	4

14. あなたは交換日記をどんなふうに渡しますか。(渡しましたか) (1つ選んで○をつけてください)

1. 他人の前でもどうと渡す
2. できるだけ他人の目をさけて渡す
3. ぜったいに他人にわからないように渡す

15. 交換日記を書くことで、あなたの生活はどうなりましたか。

	とてもそう思う	かなりそう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
(1) 毎日の生活が楽しくなった	1	2	3	4	5
(2) ひまつぶしに役だった	1	2	3	4	5
(3) エッチなことなどもくわしくなった	1	2	3	4	5
(4) なんとなく自分が前よりもくだらなくなった	1	2	3	4	5

	とても そう思う	かなり そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	まったく そう思わない
(5) 相手と気持ちが通い合った (深い友情がむすばれた)	1	2	3	4	5
(6) 自分の悩みがなくなりスッキリした.....	1	2	3	4	5
(7) ユーモアのセンスが身についた.....	1	2	3	4	5
(8) (後になってみると)時間のむだづかいだった.....	1	2	3	4	5
(9) 勉強する時間が減ってしまった.....	1	2	3	4	5
(10) 学校のつきあいだけではわからない 相手のことがわかった	1	2	3	4	5

16. あなたは、今までの交換日記ノート（使い終わったもの）をどうしていますか。
(1つ選び○をつけてください)

1. 思い出として大切にしまってある
2. たぶん古いノートといっしょにしまってある
3. 人に見られるのがいやで焼き捨てた
4. どこにあるのかわからない
5. その他—具体的に書いてください

〈これから最後のページまでは、**現在** 交換日記をしている人だけお答えください。〉

17. あなたは交換日記をしている人と **ふだん** はどのようなつきあいをしていますか。
(それぞれ1つ選んで○をつけてください)

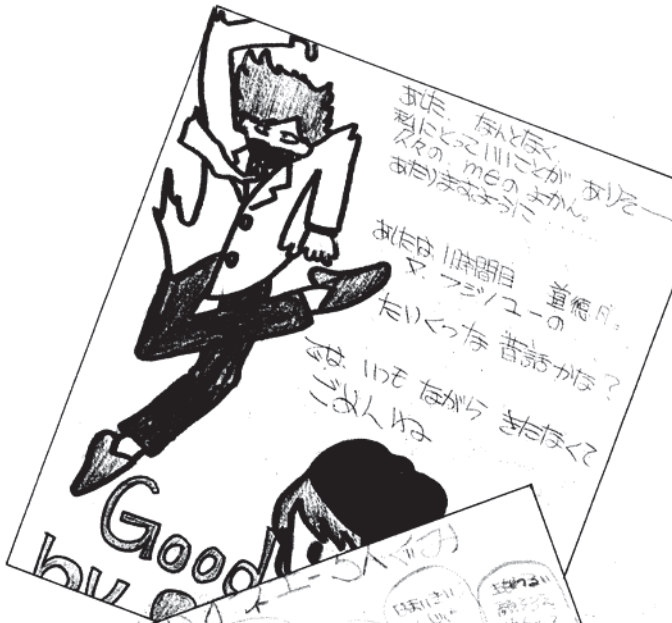
- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. おしゃべりをする回数は <ol style="list-style-type: none"> イ. 毎日よく話す ロ. わりとよく話す ハ. あまり話さない ニ. ほとんど話さない 3. 学校の帰りは <ol style="list-style-type: none"> イ. 待ち合わせてよく一緒に帰る ロ. ときどき一緒に帰る ハ. 一緒に帰ることはほとんどない 5. その人とおたがいに家から電話して長話をしますか <ol style="list-style-type: none"> イ. 毎日のようにする ロ. 週に2, 3回くらいする ハ. たまにする ニ. ほとんどしない | <ol style="list-style-type: none"> 2. その人との仲は <ol style="list-style-type: none"> イ. 親友といえる ロ. かなりの仲よし ハ. ふつうの友だち ニ. あまり仲よしとはいえない 4. 学校から帰宅後も行き来（遊んだり、勉強したり）しますか <ol style="list-style-type: none"> イ. 毎日のように ロ. 週に1, 2回は ハ. 月に1, 2回は ニ. ほとんどしない ホ. 一度もしたことがない |
|--|--|

18. あなたが現在している交換日記は、いつごろまでつづくと思いますか。
(1つ選んで○をつけてください)

1. この先たいして長くはつづかないだろう
2. 学年が変わるまでつづくだろう
3. 卒業するまでつづくだろう
4. 高校生、大学生になるまでつづくだろう
5. 大人になっても一生つづくだろう

〈どうもありがとうございました。〉





体育の時間の様子

